

泉福寺十一面観音立像

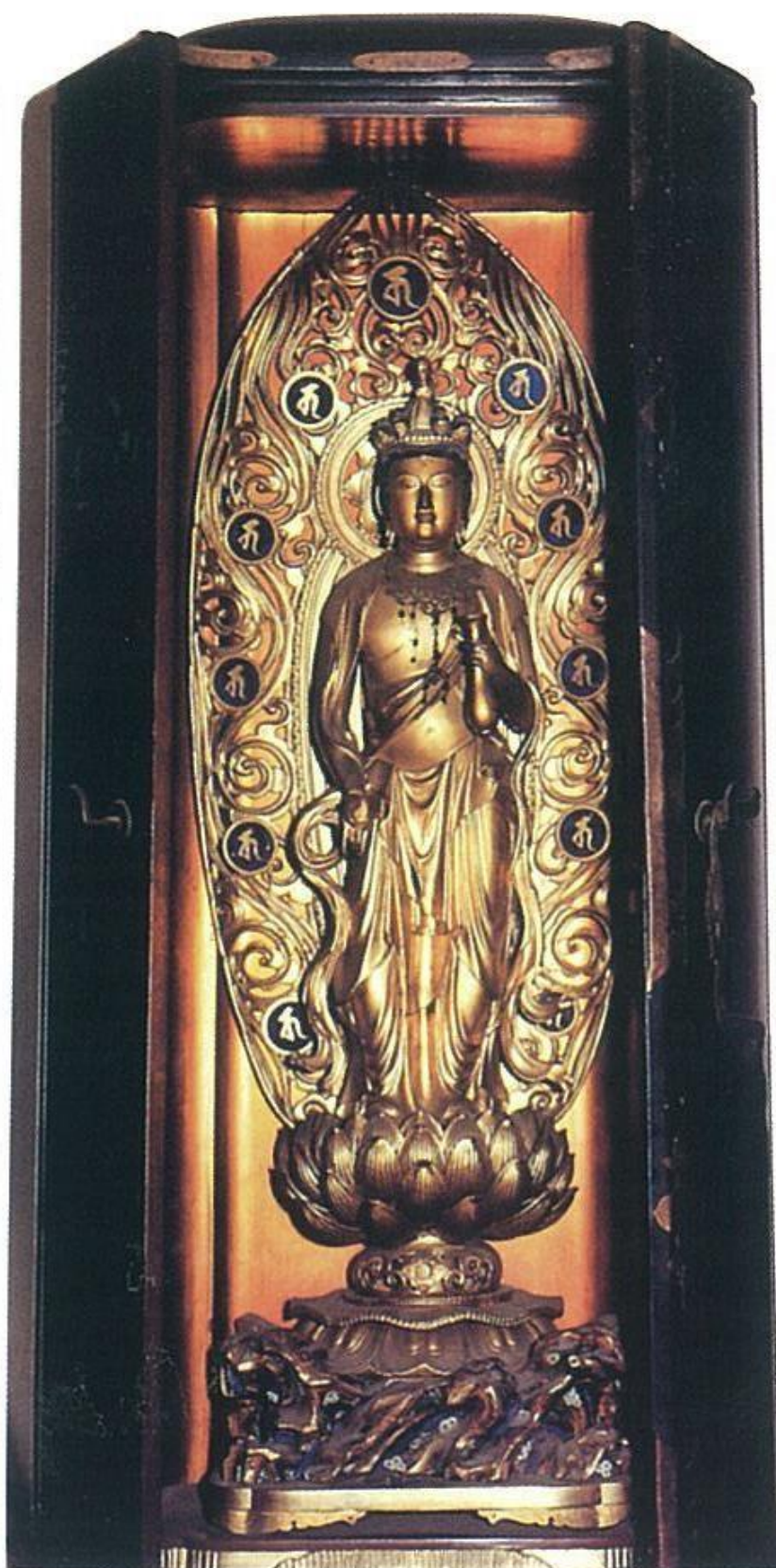
(せんぶくじ じゅういちめんかんのん りゅうぞう)

板橋区指定有形文化財(歴史資料) 平成4年2月28日指定

十一面観音は頭上に小さな十一の仏面をいただき、六観音の一つに配されています。

泉福寺十一面観音像は、木造で、寄木造、玉眼嵌入、漆箔で全身金箔にておおわれ、頭髪には彩色が加えられ、像高は53.1cmです。左手を屈して水瓶を持ち、右手は掌を前方に向けて下にさしのべて蓮華座の上に立ち、その作風は、面相、体軀、裳の表現のいずれもきわめて正統的な作風を示しています。光背は舟形光背で、表面には十一面観音を示す梵字(𑖀:キャ)が十一配され、裏面には「天和元年辛酉造立者下赤塚村春日伊兵衛／七月十五日 法名泰翁浄安居士」と陰刻されています。(天和元年…1681年)

像、光背、蓮華座はいずれも制作当初のものであり、制作年代と発願者も明らかな貴重な仏像です。



所在地：板橋区赤塚6-39-7

交通：東武東上線「下赤塚」駅
徒歩15分

国際興業バス「赤塚八丁目」
徒歩3分 [赤羽駅西口⇄
成増駅北口(赤02)]